

仕 様 書

- 1 業 務 名 : 令和6年度県内遺跡発掘調査等に伴う動植物調査業務委託
- 2 場 所 : 普天間飛行場内(宜野湾市)
- 3 工 期 : 契約締結日～令和7年2月28日
- 4 業 務 概 要 : 普天間飛行場内の確認調査等の区域内において特定の動植物調査を行い、その成果を報告書に取りまとめる。
- 5 調査項目及び数量等
 - (1) 県指定天然記念物フタオチョウの生息確認。
 - (2) 県指定天然記念物クロイワトカゲモドキの生息確認。
 - (3) 国指定天然記念物オカヤドカリの生息確認。
 - (4) 県指定天然記念物フタオチョウの食草(食樹)の生育確認。
 - (5) 上記以外の稀少動植物(環境省あるいは沖縄県のレッドデータブックに記載されている種)の生育・生息確認。
 - (6) 区域内の植生を構成する植生群落の調査
 - (7) 特定外来生物の生育確認。
 - (8) その他
 - ・ 打ち合わせ協議 業務着手時、成果品納品時(計2回)
 - ・ 現地調査 調査面積: 約 1,360 m²
回数: 1回(12月中旬～1月中旬、夜間調査はなし)
- 6 基本事項
 - (1) 本業務にあたって、設計図書に明記なき事項といえども技術的に当然実施すべき事項が生じた場合は、受託者の負担において実施すること。
 - (2) 本業務は埋蔵文化財の調査に伴う支援業務であることを十分に理解し、文化財を不用意に破壊しないように慎重に実施すること。
 - (3) 基地内の火災予防並びに在来施設の保護には十分注意を払うものとし、万一不注意により破損した場合は、委託者と協議の上、受託者の負担において早急に補修して現状復旧すること。
- 7 米軍施設内への入域手続き及び行動の制限等
 - (1) 入域パスの取得又はエスコートによる入域に備え、本業務の契約後、速やかに入域予定者及び車両の検討・決定を行うこと。
 - (2) 米軍に提出する場合があるため、前(1)に加え、本業務の契約後、速やかに作業で用いる使用機器材を記載した器材リストを提出すること。

- (3) 本業務は米軍基地内での作業が主であり、出入門、交通規制、その他基地内における行動は、基地諸則及び委託者の指示に従うこと。
- (4) 受託者は入域する車両を最小限に留めるものとする。
- (5) 本業務は稼働中の基地内における業務であるため、調査区以外の場所及びフェンス付近を必要時以外は立ち歩かないこと。
- (6) 米国及び米軍の祝日について、基地内への入域及び現地作業は実施できないものとする。
- (7) 基地内の施設は使用不可とし、飲料水等はあらかじめ準備した上で入域すること。
- (8) 基地内の火災予防並びに在来施設の保護には十分注意を払うものとし、万一不注意により破損した場合は、委託者と協議の上、受託者の負担において早急に補修し、現状に復旧するものとする。

8 現地調査

- (1) 調査区域において踏査ラインを設定し、踏査を行うものとする。
- (2) 調査の季節・時間によっては正確な生息確認が困難な場合も想定されるが、この場合はフィールドサインや周辺環境等によって生息可能性の有無を確認するものとする。
- (3) 本業務は稼働中の米軍基地内であり、早朝及び夜間は入域ができないことから、調査は原則として9:00から17:00の間に行うものとする。
- (4) 対象動植物の目撃もしくはフィールドサインを確認した場合は、位置の記録、写真撮影を行う。
- (5) 貴重種（植物）に関しては、マーキング等を行い委託者と現地確認を行う。

9 報告書作成

- (1) 現地調査の結果を基に、調査対象確認地点図、調査対象種確認状況一覧表、確認種リスト（写真、説明文入り）を作成すること。
- (2) 調査対象確認地点図は報告書とは別に、現地調査実施後2週間以内に委託者へ提出すること。
- (3) 調査地域の地形図等の資料は委託者より提供する。
- (4) 英訳した報告書も作成すること。

10 検査

- (1) 受託者は、作業中及び作業終了時点での点検を行い、不明な点がある場合は委託者と調整を行うものとする。
- (2) 業務が終了した際は速やかに委託者の検査を受け、誤り等が判明した場合は訂正を行うものとする。

11 成果品

(1) 納入する成果品は次の通りとする。

報告書一式（和文：1部、英文：1部）

- ・調査報告
- ・調査対象確認地点図
- ・調査対象種確認状況一覧表
- ・確認種リスト（写真、説明文入り）
- ・管理写真
- ・報告書データ（和文・英文）

(2) 報告書一式はファイル綴りで納入すること。